

郷土の福祉と繁栄をめざし

# 具体的な検討に入った合併促進協議会



さる10月2日、花矢町議会が合併協議会委員を決定  
 そしてその翌日には、本市の議会においても35名の委員  
 が決定され、ここに石川市長を会長とした総数68名の  
 「大館市・花矢町合併協議会」が正式に発足しました  
 第1回目の協議会は、10月12日に市役所の会議室  
 で開かれましたが、この日は内容に入らず事務報告や今  
 後の進め方をきめただけで閉会しております。  
 そして第2回目は、18日に開かれ、20項目にわた  
 って協議がなされ、協議の内容もいよいよ核心に入っ  
 てきました。

## 合併協議会委員の顔ぶれ

会長 大館市長 石川芳男

### 花矢町

議長 安部卯一郎  
 副議長 岩沢 運蔵  
 議会選出 山内 福蔵  
 鳥淵 哲治  
 畠沢清五郎  
 佐々木悦二  
 松崎 重蔵  
 福士 久造  
 山谷 正子  
 成田 幸一  
 長尾 智  
 桜田 忠  
 阿部 宇助  
 成田 嘉助  
 山方 長治  
 成田 耕三  
 高橋 幸雄  
 成田原一郎  
 佐々木久男  
 浅利 頼作  
 湊 寅之助  
 成田 利一  
 小坂 秋蔵  
 大森辰五郎  
 高橋 キヌ  
 畠沢 恭一  
 山本常三郎  
 岩谷 房吉  
 山本 常松

### 大館市

太田部武蔵  
 築館米三郎  
 佐々木正治  
 石田徳太郎  
 野口 弘  
 石戸谷錦吉  
 畠山 俊夫  
 菅原小太郎  
 田中 国司  
 奈良 友二  
 佐藤 省一  
 石田 良助  
 桜庭 末吉  
 畠山 勝蔵  
 斎藤 芳二  
 安達 友一  
 谷地田一雄  
 日景 颯三  
 石垣 忠一  
 斎藤 卯一  
 畠山 耕英  
 柳館 邦男  
 成田 松蔵  
 佐藤民二郎  
 菅原 勇治  
 中田 直敏  
 田中 昌  
 藤島米太郎

### 学識経験

花矢町長 市助役 <職員>  
 総務課長 丸屋 惲  
 財政課長 木村 和一  
 教育長 鳥淵与四左エ門  
 管財課長 釜谷 繁  
 建設課長 若松 清一  
 経済課長 農林課長

竹内 福哉  
 細田 成信  
 栗盛 周蔵  
 渡辺 正明  
 田村 靖紀  
 牧野 多門

## 解 説

私たちの生活を豊かにするには、所得を増大し、福祉の向上をはからなければなりません。

そのためには、広域的な地域開発を進め、農業、鉱工業、商業などを近代化し、これらの産業を発展させる必要があります。

新しい都市づくりの出発は、こうした諸産業の発展を長期的な展望にたって進めなければなりません。小規模な地方の市町村では、その行財政力からみて、とうてい住民の要求を満たすだけの長期計画を樹立できないのが現状であります。

このような現状から、経済圏を同じくする地域または地域総合開発地区を一团とする市町村を一つの自治体に統合し、躍進力のある都市を形成する必要性がでてきたのであります。昭和40年3月29日、この合併を円滑にするため「市町村の合併の特例に関する法律」が制定されたわけです。

幸いにして、花矢町と本市は従来から地理的にも経済的にも同じ生活圏にあることから、この特例法を加味した合併問題が急速に盛りあがってきたわけですが、このことは両市町が直面した時代のすう勢であるともいえるのではないのでしょうか。

市町合併は、あくまでも住民福祉のための合併でなければならないわけですが、そのためには、統一された行財政能力を利用し両市町民の福祉向上をはかるうとするのが今回の合併問題の主眼であります。

躍進力のある大館市、魅力ある大館市を建設するためにも、合併問題に関心と理解をいただきたいと思っております。

## 2回目の会議で

### きまった主な事項

合併の形式——「花矢町が大館市へ編入」とすること。

議会議員——花矢町議員は、大館市の議員にすること。

農業委員——花矢町の農業委員は、大館市の農業委員にすること。

特別職の職員——花矢町教育委員、選挙管理委員、選任による農業委員、固定資産評価審査委員を廃止すること。学識経験者の監査委員を1名増員し3名にすること。

一般職員——花矢町全職員を大館市の職員とすること。

合併後の市の位置、機構——現在の花矢町役場を支所に、矢立支所を出張所にすること。

消防団および消防施設——花矢地区に必要な数の地区隊を設置すること。

小学校、中学校の学区——花矢町の学区をそのまま大館市の学区にすること。

教育施設——施設管理は現行のままにすること。

厚生施設——施設管理は現行のままにすること。